

お客さまに安心・快適にご利用いただけるバスを目指して
リフト付き観光バスを導入します！
 11月12日（土）～営業開始

京成グループの千葉中央バス（本社：千葉県千葉市、社長：須藤 隆哉）では、リフト付きの観光バス車両を導入し、11月12日（土）より営業を開始します。



リフト付き観光バスの外観

これは、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を見据え、バス車両のバリアフリー化を推進し、お体の不自由なお客さまにも安心してご利用いただくために、実施するものです。

このたび導入する車両は、リモコンで操作する車椅子専用の乗降リフトが車体中央部に設置されており、お客さまは車椅子をご利用のままバスにご乗車頂けます。また、万が一に備え、AED（自動対外式除細動器）を搭載し、安心してバスの旅をお楽しみいただけます。

千葉中央バスでは、お客さまに安心・快適にご利用いただけるバスを目指し、これからもサービスの向上に努めて参ります。

リフト付きバスの導入に関する概要は次頁のとおりです。

